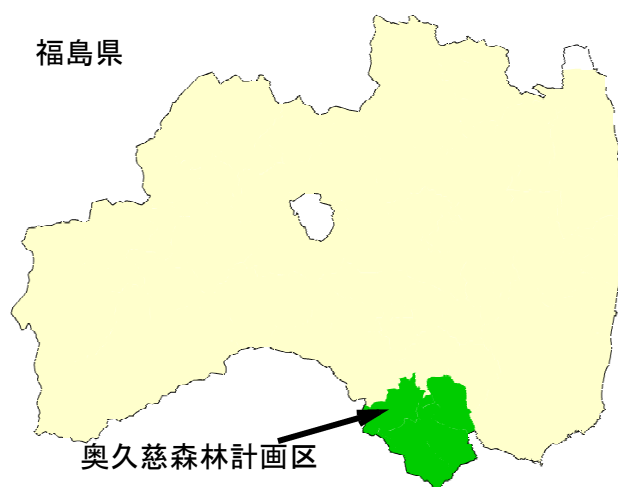


平成22年度に樹立・策定する奥久慈計画区の概要

1 現行計画の概要



植樹祭風景

(1) 森林計画区の概要

ア 位置

当計画区は、福島県の南部に位置し、棚倉町、矢祭町、塙町及び鮫川村の国有林野約22千haを対象。

イ 国有林の特徴

- ・奥久慈県立自然公園（面積4831haのうち国有林2085ha）
- ・レクリエーションの森等

【「山本不動森林スポーツ林」・「塙町自然体験の森」などの自然とのふれあいの場があり、自然体験やキャンプ、保健保養の場等として利用】

ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約6千ha、人工林が約15千ha。
- ・人工林のうち、約9割が間伐期（21年生～55年生）。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約18千ha、森林と人との共生林が約1千ha、資源の循環利用林が約3千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林等

保護林	1箇所	43.59 ha
-----	-----	----------

イ レクリエーションの森

森林スポーツ林	1箇所	64 ha
風景林	2箇所	185 ha
その他	2箇所	9 ha

ウ 国民参加の森づくり

遊々の森	10 ha
------	-------

エ 伐採・保育事業量

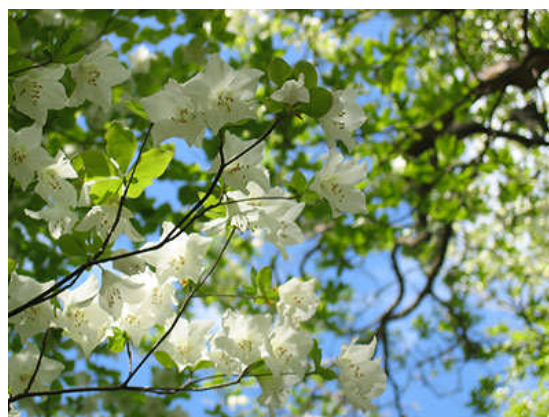
主伐	156,888 m ³
間伐	283,044 m ³
造林	530 ha
下刈	2,272 ha
つる切	376 ha
除伐	494 ha
枝打	292 ha

オ 林道・治山の事業量

林道開設	14路線	19,200 m
林道改良	35路線	9,200 m

カ

溪間工・山腹工	7箇所
保安林整備	200 ha



八溝山のシロヤシオ

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (4) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (5) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

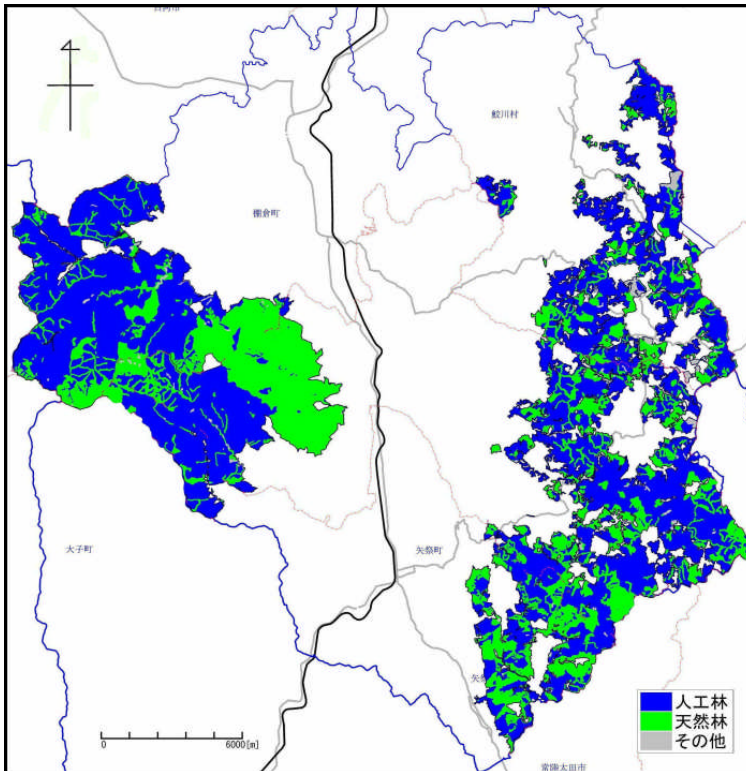
町村別森林面積等

参考 1

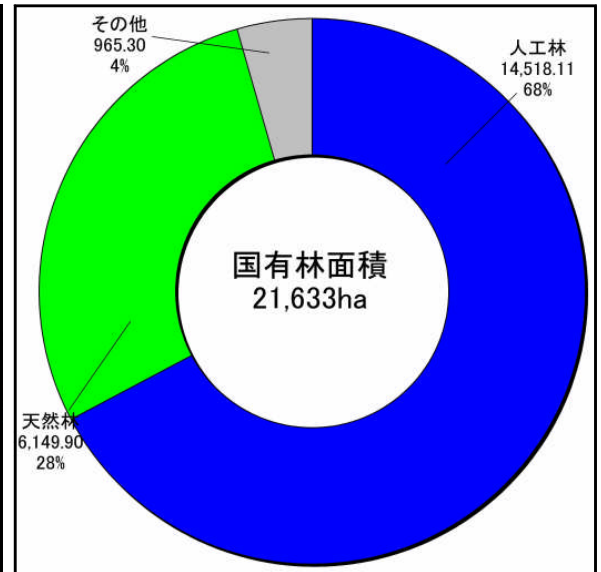
町村名	町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
棚倉町	15,982	12,087	5,732	76	47
矢祭町	11,822	9,579	3,115	81	33
塙 町	21,160	17,154	9,032	81	53
鮫川村	13,130	9,749	3,754	74	39
計	62,094	48,569	21,633	78	45

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況



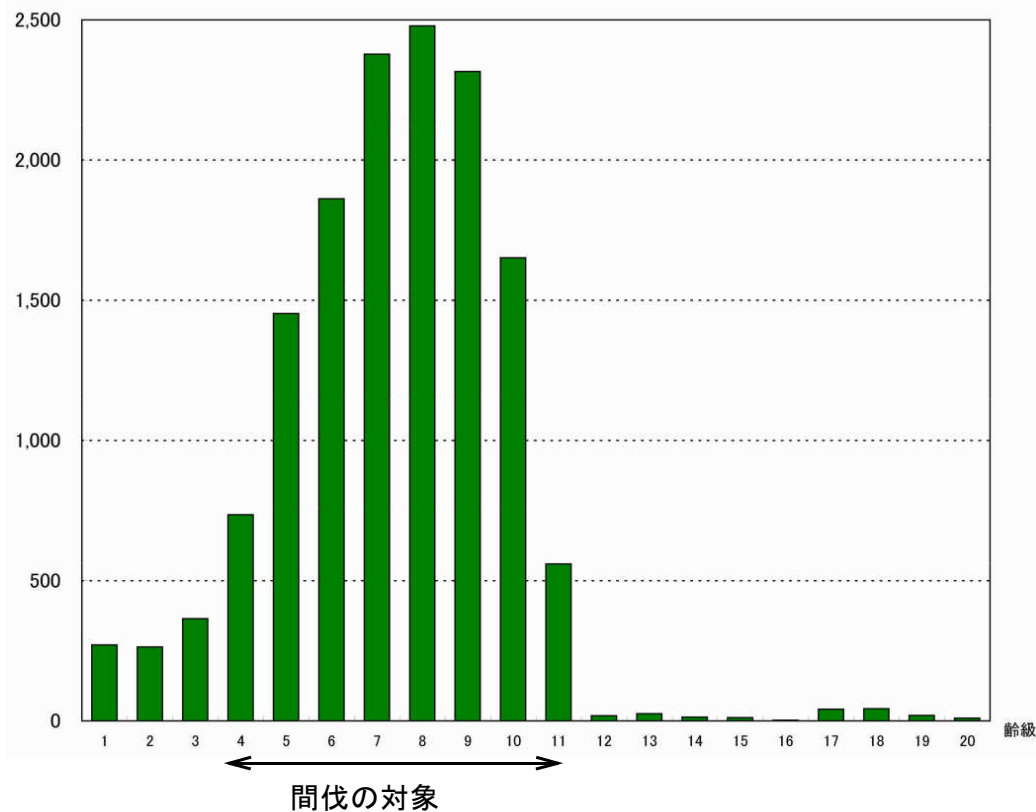
人工林・天然林別割合



八溝山の天然林

人工林の齢級別面積

人工林面積(ha)



人工林の齢級別では5齢級（21年生）～10齢級（50年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

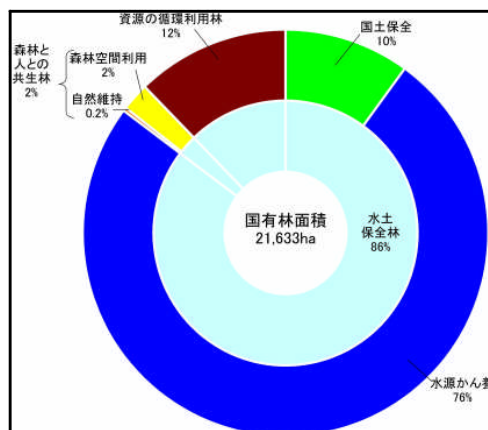
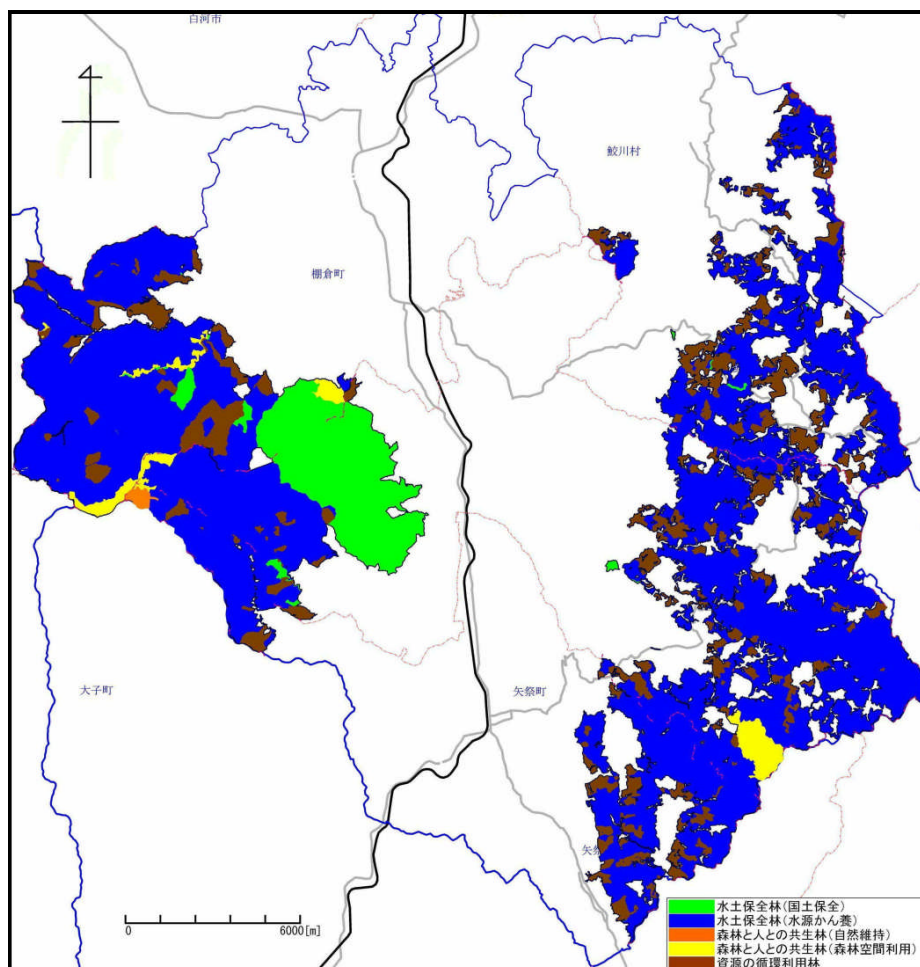


人工林

機能類型

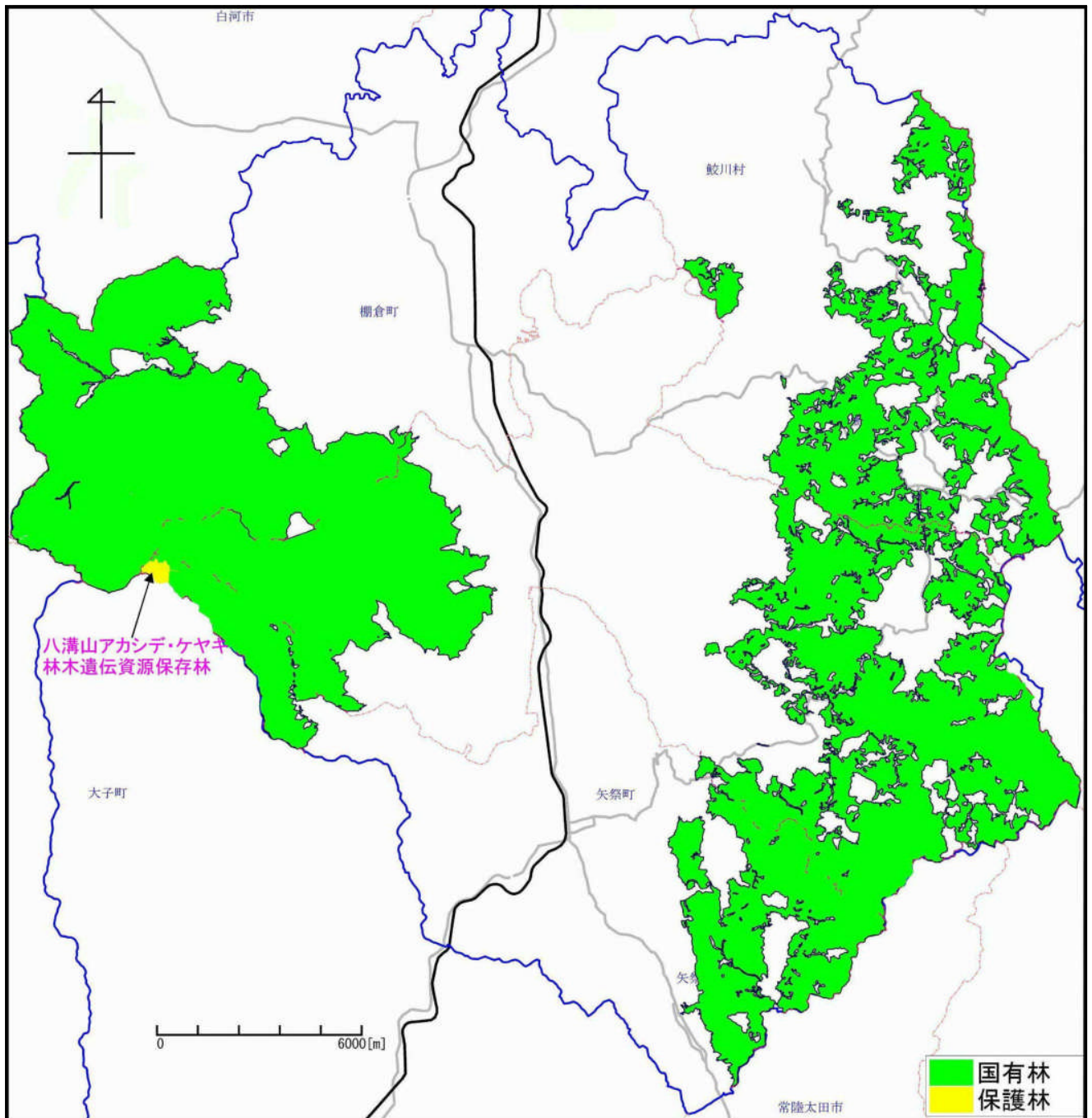
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確認することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



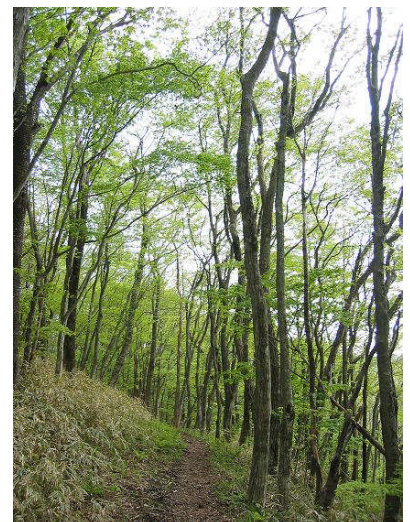
当計画区の機能類型は、水土保持林86%、(国土保全タイプ10%、水源かん養タイプ76%)、森と人との共生林2% (自然維持タイプ0.2%、空間利用タイプ2%)、資源の循環利用林12%となっています。

例えば大笹山より東の地区は水土保持林(国土保全タイプ)に区分され、それ以外の地域はほとんどが水土保持林(水源涵養タイプ)と資源の循環利用林に区分されています。

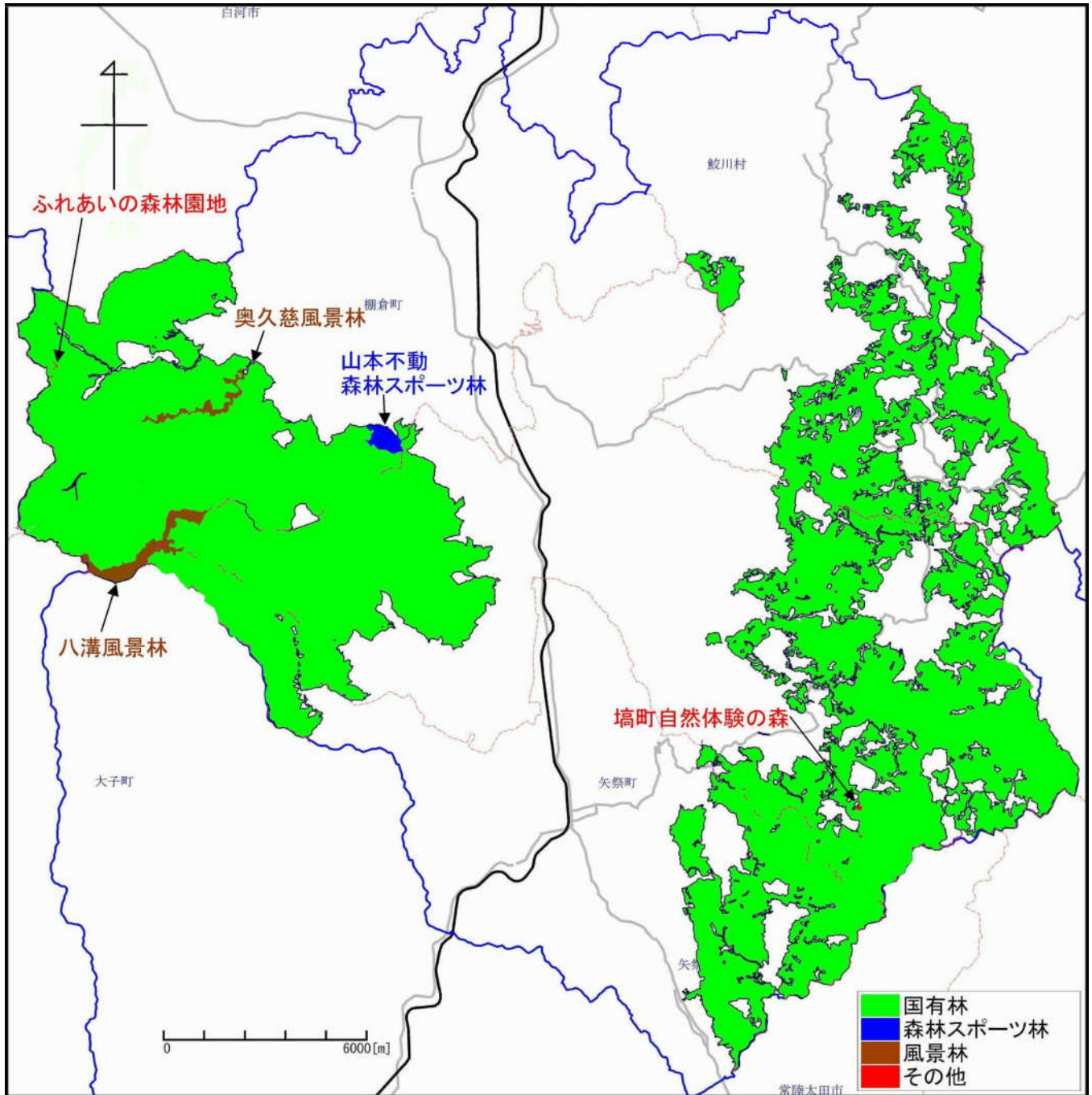


名 称	特 徴	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を保存する	44

八溝山アカシデ・ケヤキ
林木遺伝資源保存林



レクリエーションの森概要



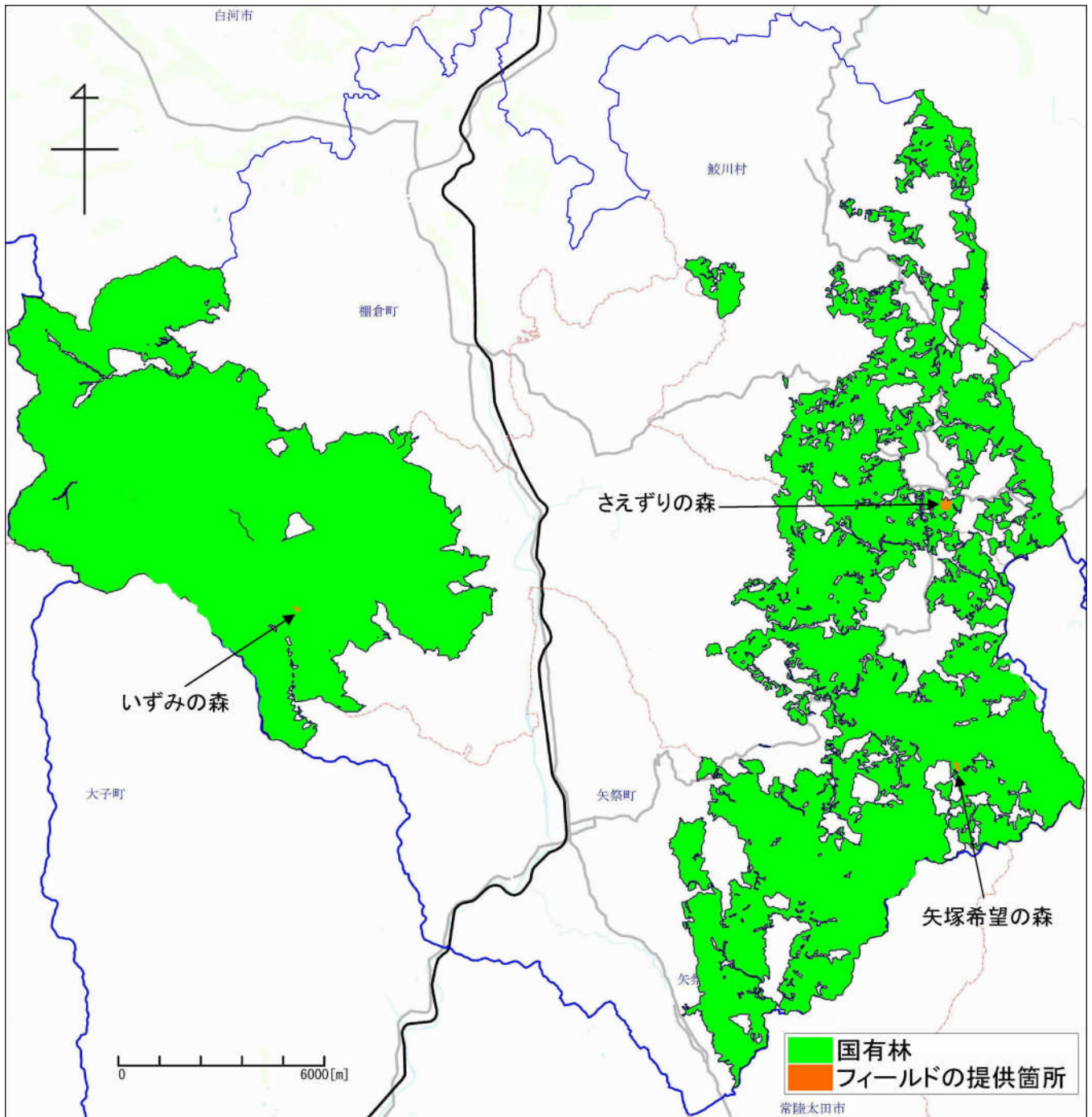
名 称	特 徴	面積(ha)
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	64
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林として風致の維持に配慮する必要がある地域	185
その他	単独でレクリエーションの施設の用に供される地域	9



山本不動森林スポーツ林（棚倉町）

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



さえずりの森	8ha
いずみの森	1ha
矢塚希望の森	1ha